

(2026年2月に東濃厚生病院と土岐市立総合病院の統合により新病院となります)

岐阜県厚生農業協同組合連合会 東濃中部医療センター-土岐市立総合病院

(公立東濃中部医療センター)

病院の概要

開設時期：令和8年2月(予定)
 開設者：土岐市長
 院長名：未定
 病床数：400床(予定)
 標榜科：内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、血液内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、血管外科、心臓血管外科、大腸・肛門外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、リウマチ科、アレルギー科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科、緩和ケア内科(予定)

医師数：90名(予定)
 指導医師数：24名(増員予定)
 外来患者数：828名/日(予定)
 入院患者数：299名/日(予定)
 所在地：岐阜県土岐市肥田町浅野1078番200



※新病院(イメージ)



※2次元コードは土岐市立総合病院のホームページを表示します

病院の特徴

瑞浪市及び土岐市には、東濃厚生病院及び土岐市立総合病院がそれぞれ中核病院として存在し、地域医療を守ってきました。東濃中部地域における医療提供体制については、岐阜県が策定した地域医療構想を踏まえ、将来にわたり継続的・安定的に医療提供ができることを目標として、2病院の統合による400床規模の新病院の建設を進められております。

新病院では、病床機能として、急性期、回復期の他、地域包括、緩和ケア病棟をもち、従来の診療科の他、産科の再開、リハビリ施設の拡充、緩和ケア、発達障害への対応の他、形成外科、歯科口腔外科、ロボット手術などを充実させる予定です。

最新鋭の設備を整えた新病院のスタートにふさわしく、研修医の先生が当院での研修を希望して下さる事を期待しております。

病院長メッセージ



安藤修久

当院は土岐市にあります地域の中核病院です。お隣の東濃厚生病院と統合して、新病院「公立東濃中部医療センター」を開設予定です。地上7階建ての免震構造を備えた400床規模の病院を建設しております。令和8年2月の開院へ向けて、職員一丸となって準備を進めて参ります。最新鋭の設備を整えた新病院のスタートにふさわしく、多くの若い研修医の先生が当院での研修を希望して下さる事を期待しております。当院は伝統的に自由なプログラムを選択でき、自由闊達な雰囲気を持っています。ぜひ当院にお越し頂きたいと思っております。

指導医メッセージ

当院は、土岐・瑞浪地域10万人規模の二次医療圏を担う中核病院です。研修プログラムにおいては、定員が毎年5人程度であるため、研修医のローテーションが重複しないよう調整することで、さまざまな症例・手技に接する機会が等しくあります。1年目は必修科目と救急疾患の診療の習熟に努め、2年目は将来の進路を見据えて、選択科目の中から各自が診療科を選択します。救急外来では、地域に密着した病院として common disease から rare な疾患まで多岐にわたる症例を経験することができます。指導医、コメディカルとの垣根も低く、相談したり話し合ったりする環境があります。当院は、一人ひとりに目の行き届く研修を目指しています。

研修医メッセージ

当院を研修先に選んだ理由は、中規模病院であり地域に根付いていることから患者さんとの距離が近く、また各科の垣根も低いため相談しやすい等の点から当院を選びました。特に救急外来においては、大規模病院や大学病院では重症例ばかりの所もあるようですが、当院には風邪、打撲から心筋梗塞・脳出血等多種にわたる疾患の方が来られます。私は、研修医のうちに風邪などの common disease に対処できることも重要と考えたので、この病院を選びました。新病院では、多岐にわたる研修が期待でき、研修スケジュールの選択期間では、自分の進路に合わせて数ある診療科の中から選択ができ、研修生活をより充実させることができます。ぜひ、開院後の新病院に見学にお越しください。

(本パンフレットに記載している内容のうち、病院長メッセージ、指導医メッセージ、研修医メッセージ以外は統合後のプログラム(予定)となります)

研修スケジュール

それぞれの希望に合ったローテーションが組めます。各科1人のローテを基本とし、症例や手技を思う存分に学べます。

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年次	内科						救急			外科	小児科	選択科	
2年次	選択科	地域医療	選択科	産婦人科	選択科	精神科	選択科						

研修協力病院・施設

岐阜県立多治見病院(産婦人科)	春日井市民病院(産婦人科)	土岐市老人保健施設やすらぎ
市立恵那病院(地域医療)	名古屋大学医学部附属病院(産婦人科)	岐阜県赤十字血液センター
国民健康保険上矢作病院(地域医療)	医療法人社団聖泉会聖十字病院(精神科)	医療法人仁誠会大湫病院(精神科)
医療法人徳洲会名古屋徳洲会総合病院	国民健康保険坂下診療所(地域医療)	中濃厚生病院(救急)
山岡診療所(地域医療)		

研修プログラムの目標

初期臨床研修を将来医療を担うものにとって最も重要な時期の一つとして位置付けております。プライマリ・ケアを含めた医療に関する考え方、基本的知識及び技術を臨床の場において広く修得するのみではなく、医師としてふさわしい人格、責任及び協調性、更に高い倫理観を身につけると共に患者様の立場に立った全人的医療を行なうことができる事を目的としています。

研修プログラムの特徴

初年度は内科系24週以上、救急を12週以上、外科・小児科については4週以上、2年次は地域医療、精神科、産婦人科を4週以上行います。残りの期間はそれぞれ希望により選択します。各科の横の繋がりや連携も良く、横断的・多角的な研修が可能です。救急外来、当直は2年間を通じて研修し、担当した症例はローテーションに拘わらず主治医と共に受け持ちます。当直は月4~5回程度です。

募集要項

応募資格：令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者
 医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：7名(予定)

身分：常勤嘱託職員

給与：与：年収680~750万円程度(基本給・賞与・諸手当を含む)

住居：等：住居手当として最大27,000円を補助

保険：等：有(健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険・医師賠償責任保険)

連絡先

電話番号：0572-55-2111
 fax：0572-54-8488
 E-mail：toki.kensyu@gfkosei.or.jp

交通案内

